

松本市地域づくり推進交付金実績報告書(抜粋)

(申請者) 第二地区町会連合会

1 交付決定額	I	金 550,000円
---------	---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 地域防災力向上事業				
実施主体	第二地区地域づくり協議会、第二地区町会連合会、第二地区防災部、社協第二地区支会			
実施日(期間)	令和4年6月10日～令和5年3月31日			
実施場所	まつもと市民芸術館、第二地区公民館、防災緑地公園			
事業概要	<p>高齢化が進む第二地区において、地域の防災力を高め災害が起きた時のために、まつもと市民芸術館避難所運営委員会、第二地区公民館避難所運営委員会を開催し、マニュアルの確認及び実際避難所となるまつもと市民芸術館の館内の視察を行った。また災害時に必要となる備品(災害時用レスキューキャリア)を購入し避難対応を充実させた。</p> <p>【備品】レスキューキャリア 1台 40,700円(税込)</p>			
地域づくりの成果、効果	<p>第二地区は、高齢化率が高く老朽化した家屋が密集する等、地震に弱いことから、避難所運営委員会を開催し、地域の防災体制の充実を図ることにより、突然の災害に備えることができた。</p> <p>まつもと市民芸術館避難所運営委員会 2回 第二地区公民館避難所運営委員会 2回 防災訓練等に係る会議 4回</p>			
課題	まつもと市民芸術館における実際の訓練実施と防災訓練のマンネリ化の改善が必要である。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
	69,000円	a	b	c
		40,700円	0円	28,300円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名： 地域包括ケアシステム推進事業			
実施主体	第二地区地域づくり協議会、社協第二地区支会、第二地区地域づくりセンター		
実施日(期間)	令和4年6月10日～令和5年3月31日 (令和4年10月16日)		
実施場所	第二地区公民館、町内公民館、地区内集会施設、防災緑地公園		
事業概要	<p>地区内の支え合い、助け合いの仕組みづくりを進めるため、一人暮らしの高齢者を対象とした、ふれあい会食会を2回、配食サービスを1回、町会サロンを3地区で開催した。また、初めての試みとして、カレー会、フードドライブを開催し、ケア会議を兼ねて結果報告会を開催した。</p>		
地域づくりの	ケア会議の一環として初めて開催した、カレー会、フードドライブは、課題はあつ		

成果、効果	たものの一定の成果を得られた。今後は、行政主体ではなく、住民が主体となって取り組めるような体制づくりが必要である。			
課 題	サロン事業については、町内公民館が少ないため、出張サロン事業など身近な居場所づくりが難しい。カレー会、フードドライブは、住民がもっと参加しやすい内容に改善する必要がある。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	193,773円	96,473円	0円	97,300円

③ 事業名：子どもの育成環境整備支援事業				
実 施 主 体	第二地区子ども会育成会、第二地区長会連合会、第二地区地域づくり協議会			
実施日(期間)	令和4年6月10日～令和5年3月31日 (令和5年1月15日)			
実 施 場 所	第二地区公民館、地区内一円、薄川河川敷			
事 業 概 要	主な事業として、こどもの減少から町会単位での実施が難しくなっている「三九郎」に関係者の協力を得て、昨年度に続き、第二地区全体で開催することができた。			
地域づくりの成果、効果	世代を越えて100人近くの大勢の住民が三九郎に参加され、幅広い交流ができた。今後はさらに、子ども会育成会を主体とした事業を展開し、世代を越えた交流の場づくりを進めていきたい。			
課 題	子どもたちが進んで参加したいような行事を計画していく必要がある。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	73,023円	30,000円	0円	43,023円

④ 事業名：盆踊り・文化祭事業				
実 施 主 体	盆踊り大会実行委員会・文化祭実行委員会・第二地区地域づくり協議会			
実施日(期間)	令和4年6月10日～令和5年3月31日 (令和4年11月12日)			
実 施 場 所	第二地区公民館			
事 業 概 要	盆踊りはコロナの影響で中止としたが、文化祭については1日ではあったが、3年ぶりに開催した。数年ぶりの文化祭であったことから、大勢の住民が来館され館内も賑わった。			
地域づくりの成果、効果	文化祭の来館を楽しみにしていた住民や、文化祭での発表や作品を展示される方々にも、文化祭の開催はたいへん喜んでいただけた。 大勢の住民が一同に介して世代を超えて交流できる行事としては、文化祭に勝るものはないと実感した。			
課 題	コロナ対策として、館内での飲食をしないこととしたため、若干寂しさを感じたが、来年度は対策を十分に講じて、従来どおり飲食ができるようにしたい。また、文化祭へは、決まった方々の参加、来館が多い。そこで、間口を広げ大勢の住民から参加をしていただきたい。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	181,447円	25,000円	0円	156,447円

⑤ 事業名：歴史・文化継承事業				
-----------------	--	--	--	--

実施主体	第二地区町内公民館長会、第二地区歴史文化継承専門委員会、第二地区公民館、第二地区地域づくり協議会			
実施日(期間)	令和4年6月10日～令和5年3月31日			
実施場所	第二地区公民館、地区内一円			
事業概要	<p>地域の歴史や文化に由来する文化財や伝統を学び継承する事業を開催した。</p> <p>(1) 第二地区の歴史や文化財を学ぶ講演会等を1回開催</p> <p>(2) 歴史・文化のマップ作成(2年間で作成) 令和4年度…… 資料収集、構成等 令和5年度…… マップ作製、印刷</p> <p>(3) 歴史文化継承専門委員会を4月から12回会議を開催し、まつもと文化遺産登録申請について協議を行ってきた。10月に申請を行い登録が承認された。また、歴史マップの作製については、本年度計画した資料収集、構成まで予定どおり完了した。</p>			
地域づくりの成果、効果	文化遺産登録及び歴史マップの作製(改訂)により歴史・文化に関心を持つ機会が増える。			
課題	第二地区は、マチ場にありながら、多くの重要な文化遺産がある。このことを住民がどれだけ理解し、後世へ継承していつてくれるのか。また担い手不足をどのように解消していくのが課題である。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	160,000円	100,000円	0円	60,000円

⑥ 事業名：地域活性化推進事業			
実施主体	第二地区地域づくり協議会、社協第二地区支会		
実施日(期間)	令和4年6月10日～令和5年3月31日		
実施場所	第二地区公民館、地区内一円		
事業概要	<p>地域が活性化(元気)になる事業を展開する</p> <p>(1) 銭湯から地域の活性化を図ることを目的として、第二地区での各種行事参加者へ無料で銭湯へ入浴できる無料入浴券を配布した。 ・第二地区の銭湯(富士の湯、菊の湯) 配布枚数 470枚(人) 利用者数 169人 利用率 36%</p> <p>(2) 第二地区公民館、福祉ひろば開館25周年記念事業 ・開館25周年を祝す記念(冠)事業等を開催 マレット大会、ポッチャ大会、ボーリング大会 など</p> <p>(3) 市長とのこندان会広聴事業 ・令和5年3月4日に開催した、懇談会に向けて「第二地区の宝物は」と題して地域づくり協議会を中心に、地域のすばらしさの掘り起こしを行った。 ・地域づくり協議会 会議を5回開催</p> <p>(4) 「歩いて探そうお宝探訪ウォークラリー」の開催 ・昨年に続き、市内6地区の公民館、地域づくりセンターで連携し、名所を巡って地元の魅力を発見する企画を行った。</p>		
地域づくりの成果、効果	地域振興と地域の活性化を目的に、第二地区の人の流れをつくり、高齢化と空洞化が進む街並みに少しでも多くの若者や観光客等呼び込み、沈みがちな地域に潤いと賑わいをもたらす効果が徐々に進行してきている。		
課題	第二地区には、住民の気よりの良さ、歴史文化財群など数多くの宝物がある。そ		

	の宝物を磨き上げることにつなげる地域活性化事業を展開することが必要である。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	108,220円	88,127円	92円	20,001円

⑦ 事業名：地域環境整備事業				
実 施 主 体	第二地区ボランティア部会、第二地区地域づくり協議会			
実施日(期間)	令和4年6月10日～令和5年3月31日			
実 施 場 所	第二地区公民館、地区内一円			
事 業 概 要	地域の自然を守り育て、公共物などを大切に維持管理していくため、環境美化に使用する備品を整備する。 【備品】 電動ポールバリカン 1台 23,804円 電動生垣バリカン 1台 25,806円 計 49,610円(税込み)			
地域づくりの 成果、効果	地区内の公共施設等の環境整備(美化)を住民自らがボランティアで実施する際の作業用備品を整備することで、作業効率を高め、環境保護・保全意識と職員との協働意識の醸成に役立った。			
課 題	ボランティア部会会員の高齢化が進んでいる。そのため、会員の掘り起こしが必要である。			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	99,610円	49,610円	0円	50,000円

※ 実施事業が4以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

決 算 額 (計) (①+②+③+④+ ⑤+⑥+⑦)	A+B+C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	885,073円	429,910円	92円	455,071円

A：各事業のaの合計額

B：各事業のbの合計額

C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名：防災対策資金積立事業					
積立目的	地域防災力の向上を目指して、地震、火災、水災、風災等緊急災害時の地域避難所設営・運営に使用する高額備品等を購入・保管する費用を積み立てるもの。				
積立期間	平成30年度から 令和4年度まで(本年度 5年目)				
積立ての 目標金額	600,000円				
積立実績	区分	積立額	積立事業への 積立金充当額	差引累計	
	前年度 までの 積立経過	1年目	140,000円	0円	140,000円
		2年目	140,000円	0円	280,000円
		3年目	100,000円	0円	380,000円
		4年目	100,000円	0円	480,000円

	5年目	円	円	円
	本年度の積立実績	D 120,000円	E 0円	F 480,000円
	合計額	600,000円	0円	
本年度積立金を充当して実施した事業の概要				
実施主体				
実施日(期間)				
実施場所				
事業概要				
地域づくりの 成果・効果				
決算額	E+G	財源内訳		
		E	G	
充当後の積立事業取扱方針				
積立継続(年度まで)・廃止				
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法				

E：充当した積立金の額

G：その他の財源の額

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	90円
-------	---	-----

[参考]繰越上限額=I×2/10